

九州・沖縄地区の 「業歴 30 年以上」の倒産 389 件、過去最多更新

集計開始後、過去最多

九州・沖縄地区「業歴 30 年以上」倒産動向調査(2025 年)



本件照会先

石倉 達也（調査担当）
帝国データバンク
福岡支店情報部
092-738-7779(直通)
tdb.fukuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/02/20

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

九州・沖縄地区で、「業歴 30 年以上」の倒産が、2025 年に 389 件発生し、集計開始以来、過去最多となった 2008 年の 303 件を大幅に上回り、過去最多を更新した。業種別では「小売業」が 91 件で最多となり、「サービス業」が 90 件で続いた。

代表者の年齢が判明している 210 件を分析すると、70 代が 68 社で最多、60 代が 64 社で続くなど、事業承継に課題を抱える企業も多く、経営者の平均年齢は過去最高を更新中であることなどから、業歴 30 年以上の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。

帝国データバンク福岡支店は、九州・沖縄地区における「業歴 30 年以上」の倒産発生状況について調査・分析を行った

集計対象：負債 1,000 万円以上・法的整理による倒産

集計期間：2000 年 1 月～2025 年 12 月

九州・沖縄地区 2025 年は 389 件発生、過去最多を更新

九州・沖縄地区「業歴 30 年以上」の倒産が 4 年連続で増加し、2025 年は 389 件となり、集計基準を変更した 2000 年以降で最も多かった 2008 年(303 件)を上回り、過去最多を更新した。また、17 年ぶりに 300 件を超えた。負債総額は 800 億 3,400 万円となり、1 件あたりの負債額は 2 億 500 万円となった。前回 300 件を超えた 2008 年の負債総額は 3,713 億 8,800 万円で、1 件あたりの負債額が 12 億 2,600 万円であったことからすると、小口倒産が中心となっている近年の傾向を裏付ける結果となった。

2025 年の倒産を業種別でみると、『小売業』が 91 件(構成比 23.4%)で最多となり、『サービス業』90 件(同 23.1%)、『建設業』64 件(同 16.5%)、『卸売業』58 件(同 14.9%)、『製造業』51 件(同 13.1%)、『運輸・通信業』21 件(同 5.4%)が 2 ケタで続いた。

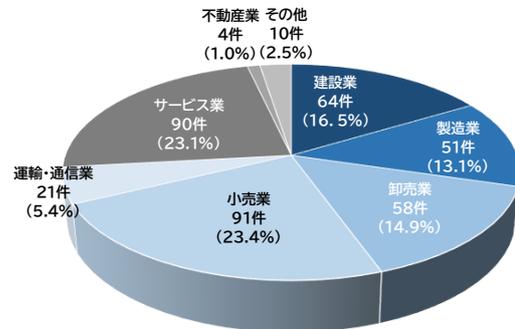
2025 年の倒産で代表者の年齢が判明している 210 件を分析すると、70 代が 68 件(構成比 33.3%)で最多となり、60 代 64 件(同 30.5%)、50 代 42 件(同 20.0%)、80 代 22 件(同 10.5%)、40 代 12 件(同 5.7%)、30 代 2 件(同 1.0%)が続いた。事業承継に課題を抱える企業も多く、経営者の平均年齢は過去最長を更新中であることなどから、業歴 30 年以上の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。

九州・沖縄地区 物価高倒産動向

「業歴 30 年以上」倒産件数・負債額推移



「業歴 30 年以上」倒産 業種別



「業歴 30 年以上」倒産 年齢別

